

災害が起こる前に 見直そう、避難行動

《詳細》防災対策課 ☎25-2244



災害対策基本法などの一部が改正され、5月から施行されました。これに伴い、避難情報に関するガイドラインも改定され、避難情報区分の名称が変わりました。
8月には3時間降水量の日最大値が、室蘭観測所の観測史上1位を記録する大雨もありました。今一度最新の情報を確認し、災害時は「自分の命は自分で守る」意識を持ち、適切な避難行動を取りましょう。

⚠️ 避難情報区分の変更点

- 警戒レベル3の名称を「避難準備・高齢者等避難開始」から「**高齢者等避難**」に変更
- 警戒レベル4の名称を「**避難指示**」に統一
※避難勧告は廃止されました。
- 警戒レベル5の名称を「災害発生情報」から「**緊急安全確保**」に変更

⚠️ 避難行動を取るタイミング

- 警戒レベル3 「高齢者等避難」**
高齢者や障がいのある人など、避難に時間がかかる人やその支援者は避難しましょう
- 警戒レベル4 「避難指示」**
危険な場所にいる人は、直ちに全員避難しましょう
- 警戒レベル5 「緊急安全確保」**
避難場所などへの立ち退き避難（自宅の外に避難）ができて危険な場合は、屋内で身の安全を確保しましょう（少しでも安全な部屋に移動するなど）
※安全な場所にいる場合は、避難する必要はありません。自宅が災害の恐れのある場所か、ハザードマップで確認しましょう。

避難行動を取る際に参考となる気象情報など

市では、下表に掲載されている気象情報が気象庁などから発表された際に、状況に応じて避難情報を発令します。皆さんも、災害が起きる可能性があると感じた際は気象情報も確認しましょう。

警戒レベル	土砂災害に関する気象情報	洪水や浸水に関する気象情報	その他の災害に関する気象情報
警戒レベル3相当情報	<ul style="list-style-type: none"> 大雨警報（土砂災害） 大雨警報（土砂災害）の危険度分布（土砂キキクル） 土砂災害危険度情報（北海道土砂災害警戒情報システム） 	<ul style="list-style-type: none"> 洪水警報、大雨警報（浸水害） 洪水警報の危険度分布（洪水キキクル） 大雨警報（浸水害）の危険度分布（浸水キキクル） 氾濫警戒情報 	暴風警報、暴風雪警報、大雪警報、高潮注意報など
警戒レベル4相当情報	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害警戒情報（北海道土砂災害警戒情報システム） 	<ul style="list-style-type: none"> 氾濫危険情報 ※警報および危険度分布は上記と同じ 	暴風警報、暴風雪警報、大雪警報、高潮警報、高潮特別警報など
警戒レベル5相当情報	<ul style="list-style-type: none"> 大雨特別警報（土砂災害） 	<ul style="list-style-type: none"> 大雨特別警報（浸水害） 氾濫発生情報 	暴風特別警報、暴風雪特別警報、大雪特別警報、波浪特別警報など

キキクル（大雨・洪水警報の危険度分布）とは

雨による災害の危険度が地図上にリアルタイムで表示されます。危険度は5段階に色分けして表示されます。



北海道土砂災害警戒情報システムとは

北海道と気象庁が共同で発表する土砂災害警戒情報と、それを補足する土砂災害危険度情報や降雨情報などの防災情報を提供します。



⚠️事前にできる準備をしましょう！

ハザードマップを確認

自宅に災害の恐れがあるか、ハザードマップで確認できます。各世帯に配布している「室蘭市くらしの便利帳」や市ホームページに掲載していますので、確認しましょう。

避難場所を決めておく

自宅にとどまることが危険な場合は、迷わず避難することが必要です。災害の恐れがある場合、市は避難所を開設しますが、多くの人が密集すると新型コロナウイルスなどの感染症が広がるリスクがあります。3密を防止し、感染症による2次災害を防ぐため、避難所以外にも、親戚・知人家やホテル、車中泊など、分散して避難することを事前に考えておくことが大切です。

非常持出品の準備

いざというときに支障がないよう、非常持出品を準備しましょう。水や非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、持病の薬などの基本的な持出品のほか、感染症対策のため、マスクや手指消毒液、体温計、スリッパなども追加しましょう。



⚠️ペットの避難

災害が発生したら、まずは自分の安全を確保してください。飼い主が無事であれば、ペットの安全を守ることができません。避難が必要な場合は、原則としてペットと同行避難することが重要です。避難場所は、市が開設する避難所の車中避難用駐車場です。※同行避難とは、避難所までの避難行動のことをいいます。避難所で、人とペットが同じスペースで過ごすことなどの同伴避難ではありません。

LINEで停電情報が受け取れます

LINEで「ほくでんネットワーク」を友だち追加し、住んでいる地域を登録すると、停電情報が配信されます。

停電や設備の問い合わせを受け付けるチャットもあります。ぜひ、ご利用ください。



《詳細》北海道電力ネットワーク(株)室蘭支店
☎0120-060-813

避難行動判定フロー

ハザードマップで自分の家がある場所に色が塗られている

いいえ

周り比べて低い土地や崖のそばなどに住んでいる人は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難する

はい

災害の危険があるので、**原則立ち退き避難**（自宅の外に避難）が必要

例外

浸水の危険があっても、
①洪水により、家屋が倒壊または崩落してしまう恐れの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水が引くまで我慢でき、水や食料などの備えが十分である場合は**屋内安全確保**（自宅にとどまり安全を確保すること）も可能

自分と一緒に避難する人は、避難に時間がかかる

いいえ

安全な場所に住む、身を寄せられる親戚や知人がいる

安全な場所に住む、身を寄せられる親戚や知人がいる

はい

いいえ

はい

いいえ

警戒レベル3
「高齢者等避難」が出たら、安全な親戚や知人の家に避難する
(日頃から相談しておく)

警戒レベル3
「高齢者等避難」が出たら、市が開設する避難所などの安全な場所に避難する

警戒レベル4
「避難指示」が出たら、安全な親戚や知人の家に避難する
(日頃から相談しておく)

警戒レベル4
「避難指示」が出たら、市が開設する避難所などの安全な場所に避難する